

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろ
しくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2021年2月1日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
ZO13 4	悪性リンパ腫ALKタンパク (IHC)	未染標本スライド	2枚	Z10 (t)	室温	5~8	2700 ※8	免疫組織化学染色法 &D

※8 病理判断料

●悪性リンパ腫ALKタンパク (IHC) の提出方法について

- 1) 本検査は、免疫組織化学染色により、悪性リンパ腫の診断補助を目的とした検査です。
別途、鑑別診断を必要とされる場合は、他の染色標本や試料等も必要となるため、検査室までお問い合わせください。
- 2) 未染標本スライドでご提出の場合は、標本は3~4 μ mの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、
スライドガラス端から50mm以内に貼り付けてください。
- 3) パラフィンブロックにてご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。
また、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。

●検査結果の報告

検査結果は、ご依頼の染色済標本の返送をもって行います。



● 悪性リンパ腫ALKタンパク (IHC)

末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) において、予後や治療効果予測のため、ALK陽性未分化大細胞リンパ腫 (ALCL) の鑑別補助を目的とした検査です。

末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) は、特にT細胞系列に発生する非ホジキンリンパ腫であり、病型は多岐に分類されます。

なかでも未分化大細胞リンパ腫 (ALCL) は悪性リンパ腫全体の1.5~2.0%を占め、ALK陽性ALCLとALK陰性ALCLでは予後および治療成績が異なるため、免疫組織化学染色法 (IHC) などにより鑑別補助を行うことが重要です。また、「NCCNガイドライン日本語版 非ホジキンリンパ腫 (2015年 第2版)」においても、「診断に適した免疫表現型検査」としてIHCを用いたALKタンパクの有無の確認が記載されています。

近年ではALK陽性ALCLにおいてALK阻害剤の効果が認められており、治療効果予測としても注目されている検査となります。

▼ 疾患との関連

PTCL
ALCL

▼ 関連する主な検査項目

CD30 (IHC)
悪性リンパ腫 総合解析検査「ML-NET」

▼ 検査要項

検査項目名	悪性リンパ腫ALKタンパク (IHC)
項目コード	Z013 4
検体量	未染標本スライド 2 枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	5~8 日
検査方法	免疫組織化学染色法
検査実施料	2700点 (N002 免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製「6」)
検査判断料	150点 (病理判断料)
備考	&D

● 悪性リンパ腫ALKタンパク (IHC) の提出方法について

- 1) 本検査は、免疫組織化学染色により、悪性リンパ腫の診断補助を目的とした検査です。別途、鑑別診断を必要とされる場合は、他の染色標本や試料等も必要となるため、検査室までお問い合わせください。
- 2) 未染標本スライドでご提出の場合は、標本は3~4 μ mの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、スライドガラス端から50mm以内に貼り付けてください。
- 3) パラフィンブロックにてご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。また、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。

● 検査結果の報告

検査結果は、ご依頼の染色済標本の返送をもって行います。

● 参考文献

名倉 宏, 他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版 (学際企画) : 147~150, 2002. (検査方法参考文献)
Fukano R, et al : Cancer Sci 111 (12) : 4540~4547, 2020. (臨床的意義参考文献)